創刊号　令和２年９月９日発行

品川区庁舎機能検討委員会　ニュース

第1回 品川区庁舎機能検討委員会が、令和2年7月13日（月）、区役所で開催されました。本紙では、新庁舎の機能について具体的な検討を行う「品川区庁舎機能検討委員会」の様子をお伝えしていきます。

1968（昭和43）年に建築された品川区本庁舎・議会棟・第三庁舎は、建物本体や設備の老朽化が進んでいる一方、区を取り巻く環境変化や多様化する行政需要に対応する機能が求められています。このことから、区は新庁舎建設に向けた庁舎機能検討を進めています。

庁舎機能検討委員会

新庁舎の機能に関する事項を審議
- ○現庁舎等の課題
- ○求められる庁舎機能
- ○導入機能、集約・複合化機能

委員構成　**合計24名**

○学識経験者	3名
○区内団体	12名
○公募区民	5名
○区議会議員	4名

区長挨拶

開会に先立ち濱野区長は、「区役所は、有事の際には、区民の安心安全を守る砦であります。新しい庁舎がどうあるべきか検討を重ねるにあたりまして、皆さまのお知恵をお貸しください。」と挨拶しました。

諮問

区長から委員長を務める、立正大学法学部法学科教授の早川誠氏に諮問文が手渡されました。

諮問内容は、「新庁舎の機能に関する事項」で、答申は、令和3年3月を予定しています。

委員会の概要

委員会では、「これまでの検討経過」や「庁舎の現状と課題」、「求められる庁舎機能」等について事務局から説明を行い、各委員から意見をいただきました。

次回の第2回から庁舎機能の具体的な検討を進める予定です。

現庁舎の課題

① 施設の老朽化に伴う維持管理負担の増大
② バリアフリー対応の強化
③ 設備の老朽化、情報機能・設備の強化
④ 防災機能の強化
⑤ 機能分散化による分かりにくさ、非効率性
⑥ 施設スペースの狭隘化、労働環境改善
⑦ 共用スペースの不足

委員からの主な意見

○華美なものは区政の継続性を妨げるので、避けなければならない。
○障害の有無に関わらず自由に行き来ができる庁舎にしたい。
○23 区の中でも、品川区役所は時代の最先端であるという、素晴らしい庁舎を目指したい。
○庁舎のＩＣＴ等を強化していく中で、全学校とつながっていける環境を整えたい。
○災害対策本部が盤石であることが最低限の条件である。
○短い導線で効率的に来庁できる庁舎にしたい。
○オフィスは将来の転用にも対応できるような作りであると良い。
○様々な区民の方がいらっしゃる、区のランドマークとなるような庁舎にしたい。
○環境への配慮も、社会的責任として求められる。

委員会の開催スケジュール

第1回 7月13日	第2回 9月9日	第3回 11月頃	第4回 1月頃	第5回 3月頃
庁舎機能の検討 →				
		導入機能のまとめ →		
今回		令和2年	令和3年	答申

※委員会は全5回の開催を予定。

コラム

品川区総合庁舎の落成式は昭和43年4月24日に行われました。

次回案内

第2回品川区庁舎機能検討委員会
日時：*9月9日*（水）午前10時～
場所：品川区役所 第二庁舎 災害対策本部室
内容：庁舎機能の検討

※第1回庁舎機能検討委員会に
関する資料はこちらから☞

お問い合わせ

品川区 総務部 経理課 庁舎計画担当
連絡先　電話：03-5742-7801
FAX：03-5742-6873
mail： keiri@city.shinagawa.tokyo.jp